



学校だより2月号 つなぐ



春の訪れを待つ

～ 冬の時期に何をする？ ～

早いもので2月になりました。節分から立春ということで暦の上では春を迎えます。とは言え寒さはまだ続いています。1月下旬は、雪が降ったり、最低気温は0℃を下回ったりと最も寒い時期で峠はこえたと思われませんが油断は禁物です。新たなインフルエンザの流行が見られるとのことですので、特にこれから受験を迎える高校3年生を中心に体調管理には十分気をつけましょう。

唐突ですが、皆さんに問いかけます。春の訪れは待ち遠しいものですか？日本には四季があるため、日常生活の中でも季節を感じる瞬間があると思います。近年は地球温暖化の影響で季節の感じ方はだいぶ変わってきていると思いますが、それでも季節の境目を意識し、中でも冬から春に移り変わろうとする時は特別なものと思っている人が多いでしょう。1月も寒の入りの時期を迎え、一段と冬の寒さが身に染みてくる時期に熱海梅園の梅の開花の話題は季節が確実に一步進んでいると思わせますし、2月の早咲きの河津桜の話題は温暖な伊豆地域に暮らす私にとってはひと足早く春の訪れを感じるできごととして心がうきうきするものです。背景には冬の寒さを乗り越えた、厳しい時期を乗り越えたということに対する喜びを表現しているものがあるのでしょうか。

ところで、春にきれいな花を咲かせるためには、植物の冬の時期の育て方は大切になります。中でも冬の時期の水やりについて、夏に比べると気温が低く、湿度もそれなりにあるので、冬は水やりの回数が少なくてすみます。ただし、冬に晴れた日が続く雪がほとんど降らない地域では、土が乾いて植物も水を欲しがっています。しっかりした根を張るためにも、水やりの作業は適切な方法で行うことが重要になります。花を咲くためには準備が大切であると言えますね。

高校3年生は卒業を控え、自分の目標に向かって最後まで精一杯チャレンジしている人がいます。すでに次のステップが決まっている人は新生活に向けた準備も同時並行で取り組んでいる人がいるでしょう。高校1・2年生及び中学生はまとめの時期を迎えています。「総合的な探究の時間」の成果発表や学校行事のまとめなど令和7年度のまとめを行いつつ、2月は学年末試験に向けた準備を始めます。この1年の振り返りをするのは2月であり、特に学習面では集大成になる取り組みとなるよう計画をしっかり立て、準備を進めていきましょう。しっかりした準備をすることで目に見える形の成果となるよう取り組んでほしいと思います。地道にしっかりした根を張ることできれいな花を咲かせることができます。思うように行かないことがあるかもしれませんが、計画を立て準備を進める中で修正をしながら目標の達成をめざします。今の時期を大切に次への備えをしましょう。

頭の中ではわかっているけど、大人でも難しいことですが…。